

令和 2 年

第 4 回防府市議会定例会

一 般 質 問

9 月 3 日（5 人）

1 河村 孝・2 石田 卓成・3 今津 誠一・4 山田 耕治
5 安村 政治

9 月 4 日（5 人）

6 宇多村 史朗・7 高砂 朋子・8 田中 健次・9 曾我 好則
10 清水 力志

9 月 8 日（5 人）

11 久保 潤爾・12 藤村 こずえ・13 山本 久江・14 清水 浩司
15 三原 昭治

9 月 9 日（3 人）

16 和田 敏明・17 山根 祐二・18 牛見 航

No.	1	河村 孝	
質 問 事 項			要 旨
1 浸水被害を防ぐための雨水対策について			本市では、7月5日から7月8日まで、313ミリの大雨が降り、7月6日には、市内複数箇所道路の冠水が発生した。また、7月24日にも2時間で40ミリ以上の大雨が降り、同じく、道路の冠水が発生した。 度重なる道路の冠水、九州を中心に甚大な被害をもたらした令和2年7月豪雨など、今後の大規模な浸水被害などを心配し、雨水施設の早急な整備を願う市民の声が多い。今後の雨水対策のご所見を伺う。 (1) 今年7月の大雨時の市内の道路等の浸水箇所を伺う。 (2) 排水路の問題だけではなく、各ポンプ場を含めた雨水施設の総合的な整備が遅れている。耐用年数が近づくポンプ場の設備更新など、膨大な事業費に対する財政的な課題もある。 下水道は、汚水対策中心に進んでいるが、本来、雨水対策も同時に行うべきものであり、総合的な雨水対策を早急に進めることが必要である。ご所見を伺う。 (3) 平成21年7月21日の豪雨災害のように、今後、本市において大雨特別警報が発令されることも予想される。大規模な浸水被害に対する防災対策について伺う。
2 ウイズコロナ、アフターコロナ時代のまちづくりについて			3密を避ける「新しい生活様式」への対応の中で、ウィズコロナ、アフターコロナと呼ばれる時代の将来像を模索することが必要となっている。 自治会などの地域活動においては、地域の祭りや総会の在り方など、これからのコミュニティ作りの模索が続いている。 また、市内企業では、テレワークやオンライン会議などの新たな挑戦を開始しており、さらなる推進のためにICT講習会も必要だと思われる。 観光業界においては、新しい生活様式における観光客への接客方法やVRや動画やSNSを使用した魅力発信などが模索されている。 新型コロナウイルスの感染拡大で人や経済が東京に集中し過ぎるリスクが改めて示され、地方分散型社会への転換が求められ、感染拡大後には、東京在住の若者の間では、地方移住への関心が高まっている。 本市においても、ウィズコロナ、アフターコロナ時代を見据え、この大きな変化の時代に、今後の新しいまちづくりを、行政が中心となって考え推進するような、戦略的な取組が必要だと考えるが、ご所見を伺う。

No.	2	石田 卓成
質 問 事 項		要 旨
1	郷土再生総合交付金（仮称）の新設について	地域の様々な問題を解決するために、現在は各課がそれぞれ予算を確保し、単独市事業を行っているが、市の財政状況が極めて厳しい状態にある中、なかなか住民の要望に応えきれていないと感じている。 今後の在り方として、現在行っている単独市事業を見直せるものは見直し、地域（連合自治会単位）に一括で交付金を支給した上で、地域住民の協力を得ながら、各地域が本当に必要と考える問題解決のための事業を、自分達の裁量で優先順位を付けて行えるようにするために、郷土再生総合交付金（仮称）の新設を要望する。 (1) 10年くらい前に、こういった取り組みを検討されたことがあると伺いましたが、当時の検討内容と、各地域と話し合った結果と、なぜ取り組みを断念することになったのかを教えてください。 (2) 前回断念した10年前と比べると農水省の多面的機能支払交付金を活用して活動している各地域の保全会の取り組みが、複数の地域で行われたことにより、共同体意識が回復しつつある地域も見受けられますが、こういった地域を念頭に、この総合交付金の新設を考えて頂けないでしょうか。 (3) この取り組みを開始する場合、現在各地域にある公民館の機能を、地域交流センターのように変更していく必要があると考えますが、まずはモデルとして手を挙げてくれた地域の公民館を機能変更することについて、執行部としては、どのようにお考えでしょうか。ご所見を伺います。

No.	3	今津 誠一
質 問 事 項		要 旨
1 新庁舎建設		基本設計案に対するパブリックコメントでは、県の施設を庁舎敷地内に建設することに対して多くの反対意見が寄せられた。 これにより市長は新たな対応を迫られたと認識すべき。 基本設計案は白紙撤回し、市庁舎建設の原点に戻り、本庁舎の建設に徹した設計に変更すべき。

No.	4	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
1 中小企業への支援策について		(1) 新型コロナウイルスの影響で企業の業務内容も著しく変化してきた。 市としても業務体制の整備等々の支援をしているが、企業や事業者からの相談件数とその内容（要望）は？ (2) 今現在の中小企業の状況を把握する仕組みがあるのか？ ア 新規事業者の推移 イ 廃業、倒産した事業者の推移 ウ 中小、小規模事業者各推移と全体の推移が、常に市のホームページでわかるようにできないか？ (3) 新商品の開発等の取り組み事業をどう評価しているか？ (4) 防府市の『老舗』を把握し、守る試みが必要では？ (5) 市のホームページでは、民間企業等との共同による地域経済の活性化、市民サービスの向上及び、市の新たな財源確保のためにバナー広告を掲載しているが応募の状況は？
2 防府市の魅力について		(1) 歴史、文化を次の世代へ引き継ぐための施策は？ (2) 平成24年12月に、市の「防府市景観条例」を制定しているが、この施行から助言や指導した案件があったか？ (3) 防府市は山、河、海と自然に恵まれている。その自然的景観を守るため、そしてその景観を後世へ繋げるため、風致地区指定も考えるべきと思うが如何か？

No.	5	安村 政治
質 問 事 項		要 旨
1	水産市場エリアの活性化について	コロナ禍が終息を見せない中、潮彩市場の指定候補者が山口県漁協とされた。今後、山口県漁協と連携して水産市場エリアの活性化にどのように取り組まれるのかお尋ねする。
2	洪水対策について	(1) 浚渫等の効果について伺う。 (2) 今後はどのような対策をするのか伺う。

No.	6	宇多村 史朗
質 問 事 項		要 旨
1	障害福祉課が行う心身障害者福祉タクシー利用券の市役所出張所及び公民館での交付申請について	(1) 障害福祉課窓口で行っている福祉タクシー利用券交付までの一連の流れを具体的に教示されたい。また、その所要時間は何分程度でしょうか伺います。 (2) 政策推進課が行っている高齢者等バス・タクシー運賃助成手続きは、期間を定め、公民館や出張所で交付を行っている。地区公民館ごとの、取り扱い件数はいくらか。また、当該事務は公民館職員にお願いしているのか、本庁職員が行っているのか。どのような人員体制で、期間を定め、交付されているのか伺います。 (3) 昨年９月の一般質問で、障害福祉課が交付している福祉タクシー利用券交付事務を身近にある公民館などで行えないかとお願いしたところ、業務体制の問題もあり引き続き検討課題としたい旨、答弁されている。政策推進課の行う高齢者等バス・タクシー運賃助成制度には、障害福祉課が行う心身障害者福祉タクシー利用券（福祉タクシー助成）の交付対象者も含まれている。 政策推進課が行う高齢者等バス・タクシー運賃助成制度を選択すれば、最寄りの公民館で手続きができ、障害福祉課が行う心身障害者福祉タクシー利用券（福祉タクシー助成）を選択すれば、市役所障害福祉課での申請手続きとなります。行政サービスとして不十分で、一貫性に乏しいと感じるが、改善すべきではないか。
2	コロナ禍における潮彩市場防府の現状と課題について	(1) 今年度の潮彩市場の来場者数と売上額が昨年度からどの程度減少しているのか。 (2) 今年度中止となった潮彩市場で行われるイベントは。 (3) 来場者数の回復や、テナントの売り上げ増加に今後どのように取り組むのか。

No.	7	高砂 朋子
質 問 事 項		要 旨
1	防災機能の充実について	(1) コロナ禍における新しい防災・減災の取組みについて (2) 防災広場の整備について (3) 防災井戸の取組みについて (4) トイレトレーラーについて
2	生活保護の充実について	(1) コロナ禍における生活保護の相談や申請及び開始決定状況と今後の対応について (2) 保護の開始決定に当たっての自動車保有の扱いについて (3) 女性ケースワーカーの配置について
3	道路等の不具合通報アプリについて	市民の安全・安心を守る観点から、道路等の不具合を早期に発見し、早期に対応するための通報アプリの導入について伺う。

No.	8	田中 健次
質 問 事 項		要 旨
1	新総合計画について	(1) 第5次総合計画の骨子案が示されたが、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の位置付けである重点プロジェクトでは、国の第2期基本方針や総合戦略で示された「施策の方向性」や「第2期における新たな視点」が抜け落ち、逆にこれまでの総合計画の内容が入り、中途半端になっている。見直すべきでは。 (2) 国の基本方針にある「女性、高齢者、障害者、外国人など、誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現」する内容を盛り込むべきでは。 (3) 国の基本方針にある「地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント」する内容を盛り込むべきでは。
2	留守家庭児童学級について	(1) 留守家庭児童学級への希望者が多く、待機児童が出て、急遽8月から1学級増設したと聞くが、現状はどうなっているのか。 (2) コロナ禍の状況で、留守家庭児童学級の狭隘さがあらためて改善課題と言われている。防府市の留守家庭児童学級を計画的に抜本的な拡大をすべきと思うが、どう考えているのか。
3	一灯点滅式信号機の撤去について	市内の一灯点滅式信号機を撤去する計画があると聞くが、市執行部はどのように把握しているのか。また、これにどう対処するのか。

No.	9	曾我 好則
質 問 事 項		要 旨
1	地域経済循環型社会の構築について	コロナ禍の中、国の経済状況は、直近のGDPの速報値において、年換算で-27.8%となった。 本市においても、一時、市内の各企業は生産調整に入るなど、各家庭の収入等が大きく減り、また多くの市民は移動や行動の自粛を余儀なくされたことで、本市経済にも甚大な影響があり、来年度の市税等の収入が激減することが予想されている。 国が提供している「RESAS」というデータベースを活用し、地域経済循環分析を行うことで、市町村単位で、地域のお金の流れを生産、分配、支出（消費・投資）の三面で「見える化」でき、地域経済の全体像と地域からのお金の流出入を把握することが可能である。 特に、地域経済の衰退原因は「稼ぐ力」が小さい場合だけでなく、地域からの「お金の漏れ」に影響されることも多いとされており、今からでも市内でお金の循環する構造を確立しておくことが、持続可能な行財政基盤の構築に繋がると確信している。 ここでお尋ねするが、コロナ禍であっても影響を受けにくい経済基盤を築くには、もう一度、原点に戻って、官民間わず、地域経済循環型社会の構築を推進する必要があると考えるが、ご所見を伺う。

No.	10	清水 力志
質 問 事 項		要 旨
1	介護利用料の負担増について	厚生労働省は新型コロナウイルス感染防止に取り組む介護事業者に対し、介護利用料の上乗せを認める特例措置を通知したが、本市における現状は。
2	国民健康保険料について	(1) 今年度、国は都道府県国保運営方針策定要領の改定を行ない、「保険料水準の統一化を目指す」ことを強調して目標に掲げたが、本市の見解を伺う。 (2) 国保料の負担が大きいことは、これまでも取り上げてきた。改めて国保料の引き下げはできないか。
3	小中学校の少人数学級の必要性について	新型コロナウイルス感染防止の観点から、全国で少人数学級の実現の声が高まっているが、本市の見解を伺う。

No.	1 1	久保 潤爾
質 問 事 項		要 旨
1	令和元年度決算について	令和元年度決算の実質単年度収支は、約 1 億 7 千万円の赤字となり、前年度に比して約 5 億 2 千万円赤字額が減少したものの、6 年連続の赤字計上となった。 コロナウイルス禍の収束が未だ見通せない中、今後さらに厳しい財政運営を迫られることが予想されるが、当局の財政状況に対する現状認識と、今後の方針について伺う。
2	山口・防府地域工芸・地場産業振興センター（デザインプラザHOFU）のあり方について	6 月議会でも報告があったが、ここ数年の経営状況は赤字が続いており、見直しが急務なのではないかと考える。 特に中小企業支援について、中小企業サポートセンターが順調に稼働している中、重複する部分が多い事業を継続していく必要性があるのかについて伺う。

No.	1 2	藤村 こずえ
質 問 事 項		要 旨
1	都市計画道路松崎植松線の延伸について	都市計画道路松崎植松線がＨ２７年、部分供用されたことにより、県道防府停車場向島線から植松方面や県道高井大道停車場線へ抜ける通過交通が市道三田尻西浦線へ流れ込み、華城小学校前の交通量が大幅に増加して５年が経つ。 現在のような不完全な道路ネットワークでは、都市計画道路の本来の機能が発揮されていないばかりか、華城小学校前の通学路は以前にも増して危険な状況である。 本路線の延伸は本市のまちづくりを支える必要不可欠な道路整備であると考えるが、今後の見通しについて伺う。
2	新型コロナウイルスの流行による小中学校部活動の影響について	新型コロナウイルス感染症の流行により、これまで取り組んできた部活動の代替大会などが開催されているが、運営について伺う。

No.	13	山本 久江
質 問 事 項		要 旨
1	新型コロナウイルス感染症対策について	(1) 山口健康福祉センター防府支所の体制強化を県に求めること (2) 事業継続緊急支援給付金について、その対象を飲食業、観光関連業、理美容業等に限らず、売上が大幅に減少しているその他の事業者も対象となるようにすること (3) 公共施設の利用料の減免について (4) ひとり親世帯等への市独自の支援拡充について
2	環境対策について	最近、激甚な気象災害が頻発し、多くの人命が奪われているが、地方自治体として「気候非常事態宣言」をだし、取組みの強化を行なう自治体が増えている。世界的にも広がる動きがある中、当市でも宣言を出すことを検討できないか。

No.	14	清水 浩司
質 問 事 項		要 旨
1	防府読売マラソンについて	(1) 今年開催となると第51回となる本大会が、100回を目指し、未来永劫続く様にする方策をお聞きしたい。 (2) 今年度の大会は開催の方向で進んでいると聞いておりますが、コロナ対策はどうなっていますか。
2	AEDについて	学校や職場等で機会があるごとにAEDを使った講習を行なうべきではないか。
3	防災について	ハザードマップによると、佐波川右岸はほとんどハザードエリアとなっているが、どこに防災広場を設置しようと考えているのか。
4	防犯灯について	白坂から人丸、真尾にかけて防犯灯の増設ができないか。

No.	15	三原 昭治
質 問 事 項		要 旨
1	地区公共用施設補助金交付事業について	地域住民の活動拠点となっている地区公共用施設、いわゆる自治会館の修繕、改造等において、例えば、修繕や改造等の申請を受けた後、翌年度対応ではなく、毎年度、一定の予算を組んで対応するなど、円滑な自治会運営ができるよう、利用しやすい事業としての見直しを。
2	公共施設における禁煙、分煙対策について	建設が計画されている新庁舎をはじめ、公共（市有）施設における禁煙、分煙対策、対応についての考えと取り組みは。

No.	16	和田 敏明
質 問 事 項		要 旨
1 市民への対応について		(1) 要望のあり方について (2) 緊急時の市民への周知について (3) 新市庁舎建設基本設計（案）に関するパブリックコメントへの対応について

No.	17	山根 祐二
質 問 事 項		要 旨
1	コロナ禍における選挙の取り組みについて	令和2年4月に美祢市長選挙・市議会議員選挙、6月に周南市議会議員選挙が行われた。いずれも経験したことがないコロナ禍における地方選挙となったが、コロナ感染の拡大はいまだに収束の様子はない。11月に防府市議会議員選挙が予定されている本市は、これら他市の選挙の取り組み結果を参考に万全の体制を整える必要があると考えるが、選挙管理委員会のご所見をうかがう。
2	行動経済学「ナッジ」の活用について	ナッジとは行動経済学で、個人の選択の自由を残しつつ、伝え方の工夫で人を誘導するというものであり、コロナ禍において新しい生活様式の実践が求められる中、本市のナッジ活用の状況と今後の取り組みについて、ご所見をうかがう。

No.	18	牛見航
質問事項		要 旨
1 防府市のIT化推進について		(1) 「第5次防府市総合計画」の中でのIT化推進の位置付けとその重要性についてどのように考えているか？ (2) ITインフラ整備、5G導入などに向けた今後の取組と方針について (3) 企業誘致、産業などの経済活性化とIT推進との連動性との考え方と方針、今後の計画について (4) その他、医療、防災、教育における取組推進とIT推進との連動性との考え方と方針、今後の計画について (5) ローカル5G導入についての精査、研究など現状の進捗について

